

単元名:これからよろしくね!

科目名	韓国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー
学年/年次	-	クラス人数	-	使用教科書名(対応する課)	-
話題分野	人とのつきあい	言語レベル	1	必要時間数	12時間

I 単元目標

電話で使う表現をグループで調べておき、韓国の交流校の生徒にスカイプなどのインターネット電話をかけてあいさつし、その後の交流につなげることができる。

	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科
わかる						
できる						
つながる						

言語領域	文化領域	グローバル社会領域
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆韓国人の友人にあいさつの電話をすることができる。</li> <li>◆聞き取れない場合に、韓国語で聞き返すことができる。(コミュニケーションストラテジー)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆適切な呼びかけの仕方の異同について理解することができる。</li> <li>◆電話で、適切な掛けはじめと切り方ができる。</li> </ul> <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆グループで電話の表現を調べる(協働)</li> <li>◆電話をかけている様子をビデオで撮影し、コメントをアフレコする(情報活用)</li> <li>◆さまざまな方法で国際通話ができる今日の通信事情について知り、グローバル社会での通信手段の重要性を理解することができる。(知識理解)</li> </ul> <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>

<p>コミュニケーション能力指標</p>	<p>【人とのつきあい】</p> <p>1-a. 人とのつきあいでよく使う基本的なあいさつ表現(初対面、感謝、励まし、謝罪、断りなど)を、言ったり、聞いて理解したりできる。</p> <p>1-b. 電話・ファクスの番号やメールアドレスを、口頭で伝えあうことができる。</p> <p>1-d. 電話をかけるときによく使う表現(もしもし、～いますかなど)を用いて、電話で簡単なやりとりができる。</p> <p>★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している。</p>
----------------------	---

II 評価

学習を助けるための評価 (形成的評価)	目標達成度を測る全体的評価(総括的評価)
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆電話で使う表現を発表する。(情報量、適切さ)</li> <li>◆クラス内で携帯電話を使ってロールプレイをする。(発音の正確さ、表現の適切さ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆交流校の生徒に電話をする。(適切なあいさつできたか、交流の約束ができたか、電話をかける時のコミュニケーション・ストラテジーが使えたか)</li> <li>◆電話をかけている様子をビデオで撮影し、コメントをアフレコする。(表現力、声の大きさ、発音の正しさ)</li> </ul>

Ⅲ 学習活動		
プレコミュニケーション活動 (語彙・表現習得活動)	コミュニケーション活動 (学習シナリオ)	
<p>◆どのように電話したらいいか、電話で使う表現をグループで調べ、発表する。【1-a】</p> <p>◆その表現を使ってクラス内で携帯電話を使ってロールプレイをする。【1-b,d】</p> <p>◆教師が読み上げた電話番号のカードを取る。【1-b】</p> <p>★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標</p>	<p>&lt;場面状況&gt; U高校は交流校と、互いのことばを習っている生徒同士の交流の第一歩として、お互いに電話であいさつすることになった。</p> <p>&lt;活動の流れ&gt; 生徒の携帯電話の番号は先生を通じて知らせてもらっておく。どのように電話したらいいか、電話で使う表現をグループで調べ、発表する。その表現を使ってクラス内で携帯電話を使ってロールプレイをする。無料で使えるインターネット電話やその使い方も調べておく。 実際に相手の携帯電話またはインターネット電話を使って電話をかけ、あいさつをし、念のため家の電話番号を聞いて、その後のメール交換の約束をする。電話をかけている様子をビデオで撮影し、コメントをアフレコして交流校に送る。</p> <p>ヒント☞ 交流校がない場合は、韓国人留学生と交流する活動に変えてもよい。</p>	
<p>&lt;使用教材・教具&gt; 教科書。コンピューター、携帯電話</p>		
表現と表現のポイント	語彙	文化・グローバル社会事象と事象のポイント
<p>&lt;表現&gt; 여보세요? / 김 윤경 씨 핸드폰 맞아요? / 저는 쓰루미 소고고등학교 2학년 쓰루미 타로입니다. / 반갑습니다. / 앞으로 메일 교환하고 싶은데 괜찮아요? / 잘 부탁드립니다. / 안녕히 계세요. / 다시 한번 말씀해 주세요.</p> <p>&lt;表現のポイント&gt; 여보세요 /—씨 핸드폰 맞아요? /앞으로 /—고 싶은데 /잘 부탁드립니다 /반갑습니다 /다시 한번 말씀해 주세요.</p>	<p>핸드폰, 고등학교, 학년, 메일, 교환</p>	<p>&lt;事象&gt; ◆人の呼び方、誰をどう呼ぶか ◆友達とのつきあい方 ◆電話かメールか ◆友人関係を円満にするための工夫 ◆インターネット電話サービス</p> <p>&lt;事象のポイント&gt; ◆感謝や謝罪の気持ちの表し方(いつするか?どれくらいの頻度でするか?)の異同に気づく ◆通信技術の発達と普及により、人と人の関わり方に劇的な変化をもたらし、付き合い方にも影響を与えていることを理解する。</p>
教室外(人・モノ・情報)との連繋		他教科の内容との連繋
<p>韓国の生徒</p>		<p>なし</p>